

ほっと♡ゆうばり

第31号 2010年5月1日 編集・発行：ゆうばり再生市民会議広報部

“ずーっと住み続けたいくなる夕張”に!

…あなたも再生市民会議メンバーになりませんか! …

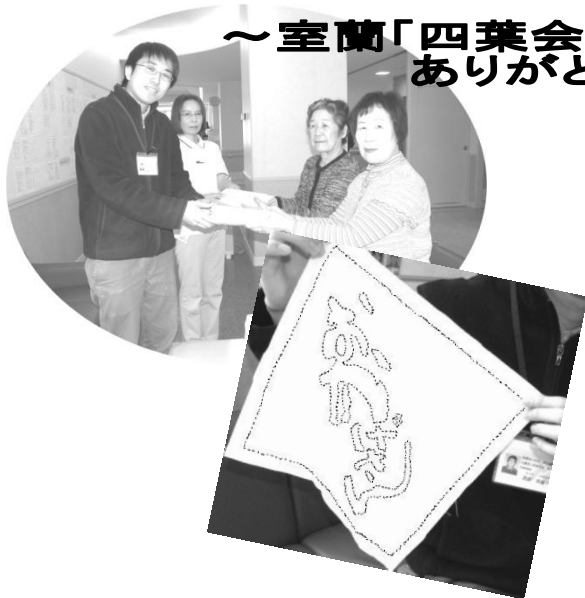
今月の運営委員会(5月14日)は、話し合いを重ねてきた「ゆうばり再生会議 規約」を決めます。

目的を「夕張を安心して活力ある住みよいまちにする。」と明確にし、今まで どうよう、市民の声をもちより、自ら実践する会議にしましょう。

ゆうばり再生市民会議 運営委員会
日時：5月14日(金) 午後6:30～
場所：清水沢研修センター 2F

運営委員のみなさん、そして「夕張をずーっと住み続けたいくなるようなまちにしたい…!」～と思っている市民みなさんの参加を呼びかけます。

～室蘭「四葉会」のみなさん ありがとうございます～



ゆうばり再生市民会議の福祉・生活分科会の活動を新聞で知り、交流いただいている、室蘭のボランティアグループ「四葉会」の皆さんから、またまたお送りいただいた“おかけさん布巾”今回は、ケアハウスレインボーヒルズにお届けし、大変喜んでいただきました。

「四葉会」のみなさん、ありがとうございます～す!

学習会のお知らせ～すべては知るところから始まる～
…シリーズ「夕張の福祉と医療を考える」…

— 実例から学ぶ学習会 —

「自宅で診療・看護をしてもらうには？」

講師：訪問看護師・ケアマネージャー
日時：5月15日(土) 13:30～15:30



*お祭りですが、参加お待ちしております!(託児もあります)
*託児事前申し込みはこちらへ(園携帯 090-4874-2538)

しか(鹿)るより フン(糞)ばる心 ヒロ(拾)いあげ

4月16日、清田高校研修旅行での鹿フン拾いは、運動公園競技場残雪のため中止となりました。

4月17日、近畿日本ツーリスト55周年記念家族会ボランティア(参加者38名)は、心配されたお天気にも恵まれて、一部競技場の鹿フン拾いを行うことができました。参加いただいた市民ボランティア(27名)は、鹿フン拾い班と野球場清掃・雪割り班とに分かれ作業を行いました。

参加された KNT リーダーの方から「夕張にこのようにすばらしい施設があることを PR していきます。」と、取り組みへのお礼と合わせてご挨拶をいただきました。

参加者の皆さん、お疲れ様でした。

また、参加者への皆さんへと、入浴割引券を提供して下さった“ゆうばりユーパロの湯”さん、ありがとうございました。

4月13日夜に「夕張の医療と介護を学ぶ」の第3回学習会を市民研修センターで開催しました。

テーマ 地域医療を支える市民の取り組み

「留萌がんばるかい」の代表：澤田知明さんを招き、巨額の赤字を抱える留萌市立病院の再建に市民の立場で取り組んできた実例を、参加した30人が学びました。留萌市で写真館を

経営し、青年会議所のメンバーとして留萌の町づくりに力を注いできた澤田さんのお話は大変興味深くて、ためになるものでした。



ためになるものでした。

留萌市の公債費(負債額)は500億円! 再建団体か?!

人口2万5千人、一人当たり190万円で、夕張より多いのです。原因は市立病院と下水道にあり、病院は27億円。「このままでは再建団体まちがいなし」と強い危機感で病院職員に尋ねた。

「なぜ、こんなに赤字が?」 5つの原因があった…

- 医師不足 ●看護師不足 ●スタッフ不足 ●患者不足
- 診療報酬の改定で収入不足 (同じことをしていると収入下がる)
- …この5つを改善すれば… ひとつずつ考えた…
- 医師不足→研修医にターゲット→医大卒業し医師免許試験受けず米国留学した人がいた→免許取るため一年間研修し合格。(そのための費用600万円は院長の裁量でクリア)→現在勤務中です。
- 看護師不足→留萌に看護学校がない、札幌に集中→小型バスで留萌

見学ツアーを実施した→奨学金制度(勤務3年で返済免除)、就職時の援助資金制度も→現在留萌高校出身の20人以上が奨学金を受け、看護学校へ進学している。

○患者不足→増やす方法は? 減っていた理由は? 「病院の評判がきわめて悪かった」のです→病院の正しい姿を市民にPRするため澤田と友人の森で取材、広報紙をつくり印刷し配布した→費用10万円、紙質と写真にこだわる(カラー印刷)。捨てられない、捨てたくないものに→動き出すとありがたい助け舟が…補助金が…留萌支庁、内閣府、民間からついて→広報紙の2号、3号が出せ、見学ツアーも開催できた→市民がやっていることを潰しては駄目! 市役所以外の援助を広げる。

夕張で同じことはできないと思うが、克服するための取り組みは同じ。

高いハードルは越せないが、できること、簡単なことから始めよう

- 知り合いにナースはいませんか…とダメ元で話して、人づてに頼む。人と人とのつながり、思いをもって話せば伝わる。
- 種はまいた…「27億円に対する絶望感は少し薄らいだ」「返せるかも」という感触
- 病院への悪い評判は少なくなった。クレーム減った。広報紙の効果か? 医師をねぎらう役目も。
- 医師との交流、コミュニケーションの場を作った(バーベキュー、ヨガ教室)。ドクター同士が結婚、留萌への愛着、長くいてほしい。カラー刷りの広報紙「留萌がんばるかいNEWS」は3ヶ月に1回発行。日刊留萌新聞、道新に折り込んでいます。

☆車座の会場で、後半の質疑応答にも真剣、丁寧に答えてくれた澤田さん、ありがとうございました。

今年「さくら美術館」オープン!
 市役所2階「あずましい」5/6~5/28
 「老人福祉会館」4/28~5/25
 …是非ご覧ください…